

第4章 全体のセクシュアル・ハラスメント経験の特殊性

本章では、対象全体のセクシュアル・ハラスメントの認識、見聞、経験をスポーツ場面（スポーツ内）とスポーツ以外の場面（スポーツ外）とで比較検討した。

第1節 スポーツ場面とスポーツ以外の場面におけるセクシュアル・ハラスメント認識の比較

セクシュアル・ハラスメント認識として、セクシュアル・ハラスメントになりうる 19 の項目について「セクシュアル・ハラスメントと思うか」という質問をし、「そう思う」と「そう思わない」を両極とする4段階尺度、および「わからない」という項目を加えた計5段階で回答してもらった。本章では4段階尺度を「思う」と「思わない」の2段階に変換した。

スポーツ場面とスポーツ以外の場面におけるセクシュアル・ハラスメント認識を図 4-1 に示した。「セクシュアル・ハラスメントだと思う」人の割合が多いのは次の5項目であった：

- ① 1)性的な関係をしつこく迫る
- ② 5)性的なうわさを流す
- ③ 8)性的な写真や雑誌などを見せる
- ④ 11)性的な電話やメールを送る
- ⑤ 9)からだをじろじろ眺め回す

「1)性的な関係を迫る」「5)性的なうわさを流す」「8)性的な写真や雑誌などを見せる」「11)性的な電話やメールを送る」など性的な内容の行為や言動、ならびに「9)からだをじろじろ眺め回す」という視覚的内容の項目であり、スポーツ場面であってもスポーツ場面以外においても7割以上の人が「セクシュアル・ハラスメントだと思う」と回答していた。

他方、「7)『おばちゃん』『ねえちゃん』など人格を認めない呼び方をする」「14)あいさつや励ましのためにからだにさわる」「16)お茶くみ、掃除、私用をさせる」といった項目はセクシュアル・ハラスメントと「思う」人より「思わない」人のほうが多く、「思わない」人の割合も概して5割を超えていた。

また、ある項目がセクシュアル・ハラスメントに該当するか否か「わからない」と回答する人の割合は、少ない項目で約 2%、多い項目で約 8%であった。「16)お茶くみ、掃除、私用をさせる」「17)女性の業績・実績を低く見る」の項目では、スポーツ場面には関わらず、8%以上の人がセクシュアル・ハラスメントであるか「わからない」と回答していた。

<スポーツ場面かスポーツ以外かの差違>

スポーツの場におけるセクシュアル・ハラスメント認識とスポーツ以外の場におけるそれを比較し、その差違に着目する。

ある項目をセクシュアル・ハラスメントだと「思う」人の割合を両場面間で比較すると、その割合は19項目中11項目でスポーツ場面のほうがスポーツ場面以外より多かった。ある項目をセクシュアル・ハラスメントだと「思う」人の割合に両場面間で10%以上の差がみられ、その割合がスポーツ場

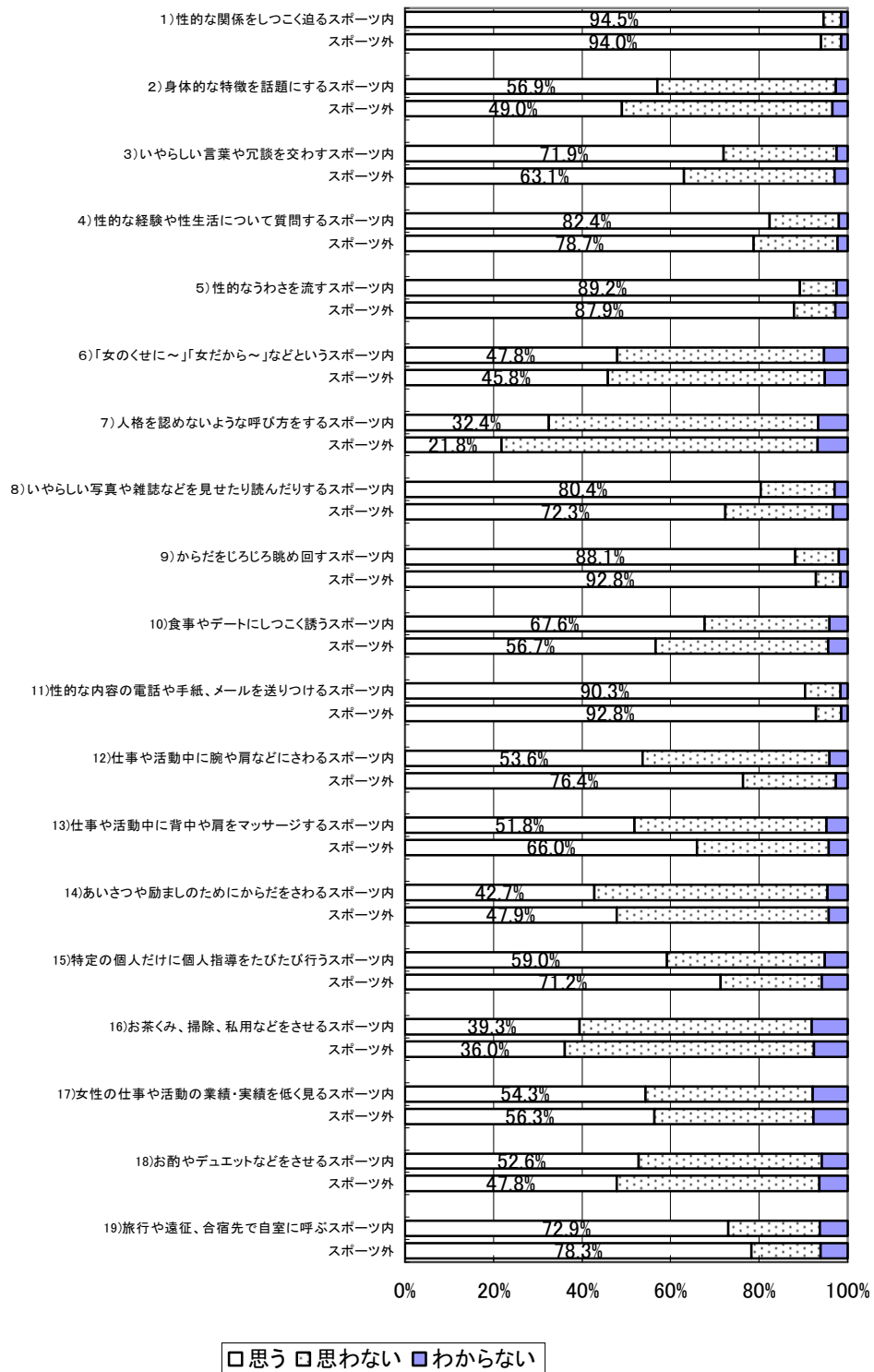


図4-1. セクシュアル・ハラスメント認識の比較
(上段:スポーツ場面 下段:スポーツ以外の場面)

面の方が多かった項目は「7『おばちゃん』『ねえちゃん』など人格を認めない呼び方をする」「10食事やデートにしつこく誘う」の2項目であった。いっぽうスポーツ場面以外では、「12仕事や活動中に腕や肩などにさわる」「13仕事や活動中に背中や肩をマッサージする」「15特定の人物だけに個人指導をする」の3項目であり、特に「12仕事や活動中に腕や肩などにさわる」は両場面間の差が22%もあり、両グループにおけるセクシュアル・ハラスメント認識が大きく異なる項目である。

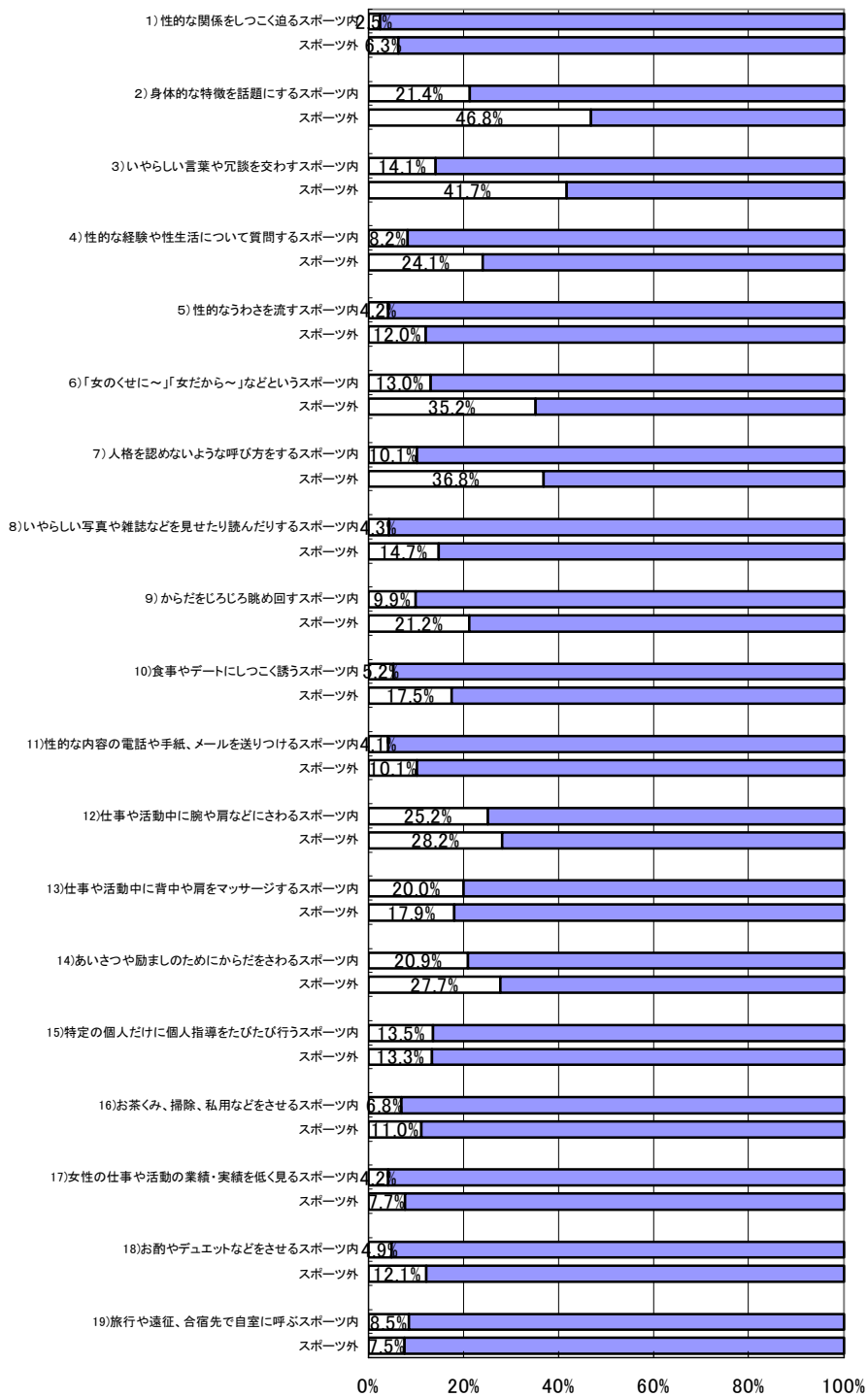
ここで、両場面の差違が顕著であった「12仕事や活動中に腕や肩などにさわる」の項目について詳しく検討しておこう。この項目をセクシュアル・ハラスメントと「思う」人の割合は両場面間で22%も異なることについては既にふれた。具体的には、スポーツの場で行われるこれらの項目をセクシュアル・ハラスメントと「思う」と回答したのは53.6%、スポーツ以外の場面では76.4%であり、つまりこの項目に関してはスポーツ場面以外であればセクシュアル・ハラスメントだと「思う」が、スポーツ場面では「思わない」人がより多くなるのである。スポーツ以外の場においてこれらの項目をセクシュアル・ハラスメントと認識している人の割合は70%を越えている。スポーツの場における他人の身体への接触は、学生によってセクシュアル・ハラスメントと認識される割合が少なくなるという特徴的な項目であることを確認しておきたい。

第2節 スポーツ場面とスポーツ以外の場面におけるセクシュアル・ハラスメント見聞の比較

次に、セクシュアル・ハラスメント項目として挙げられた19の言動を見たことがあるかどうかについて質問し、この質問に「見たことがある」と回答した人の割合を図4-2に示した。

ほとんどの項目でスポーツ以外の場面で「見たことがある」と回答した人の割合が多かった。多かった項目は、「2身体的な特徴を話題にする」(46.8%)、「3性的な言葉や冗談を交わす」(41.7%)、「7人格を認めないような呼び方をする」(36.8%)、「6『女のくせに』『女だから』などという」(35.2%)であり、いずれも会話や呼び方など発言に関する項目である。他方、「見た」者がスポーツの場において多かった項目は「13活動中に背中や肩をマッサージする(20.0%)」、「19遠征や合宿先で自室に呼ぶ(8.5%)」であった。

両場面間の差が20%以上あり、かつスポーツ場面以外でより多かった項目は、「2身体的な特徴を話題にする」「3性的な言葉や冗談を交わす」「6『女のくせに』『女だから』などと言う」「7人格を認めないような呼び方をする」の4項目であり、その差は22~28%ほどもあった。その他にも10%以上の差で「見た」とした者がスポーツ場面以外で多い項目が4項目あった。いっぽう差は大きくないもののスポーツ場面の方が多かった項目は、「仕事や活動中に背中や肩をマッサージする(20.0%)」「遠征や合宿先で自室に呼ぶ(8.5%)」であった。



□見たことがある □見たことがない

図4-2. セクシュアル・ハラスメント見聞の比較
(上段:スポーツ場面 下段:スポーツ以外の場面)

第3節 スポーツ場面とスポーツ以外の場面におけるセクシュアル・ハラスメント経験の比較

セクシュアル・ハラスメントの項目として用意してきた 19 項目を、実際に自分が受けたことがある女子学生はどれくらいいるかについてみてみたい。図 4-3 には、19 の各項目を「受けた」と回答した人の割合を示した。

ほとんどの項目でスポーツ以外の場面で「受けた」と回答した人の割合が多かった。特に以下の項目は 10%以上の差でスポーツ場面以外の方が多かった。

- ① 2)身体的な特徴を話題にする (34.1%)
- ② 3)性的な言葉や冗談を交わす (29.1%)
- ③ 7)人格を認めないような呼び方をする (23.0%)
- ④ 6)「女のくせに」「女だから」などという (20.4%)
- ⑤ 10)食事やデートにしつこく誘う (12.4%)

上位 4 項目は、スポーツ場面以外で「見た」人の割合が多かった上位項目と一致している。他方、スポーツ場面で「受けた」人の割合が多かった項目は、以下のとおりである。

- ① 12)仕事や活動中に腕や肩などにさわる (17.5%)
- ② 14)あいさつや励ましのためにからだをさわる (13.2%)
- ③ 2)身体的な特徴を話題にする (12.9%)
- ④ 13)仕事や活動中に背中や肩をマッサージする (11.6%)

以上の 4 項目についてはいずれも 10%をこえているが、スポーツ場面よりもスポーツ場面以外で経験者の割合がより多かった。

スポーツ場面のほうがスポーツ以外の場面よりも多かったのは以下の 2 項目である：

- ① 15)特定の人物だけに個人指導をする(4.1%)
- ② 19)遠征や合宿先で自室に呼ぶ(4.1%)

「活動中に背中や肩をマッサージする」、「遠征や合宿先で自室に呼ぶ」の項目は、スポーツ場面で「見た」人の割合が多かった項目と一致する。「見た」項目と「受けた」項目がほぼ一致していることから、スポーツ以外の場面では身体的特徴が話題になったり、性的な冗談や「ねえちゃん」と呼んだりなどの発言が、スポーツ場面では個人指導や身体接触の形がとられていると思われる。

以上のように、19 項目を「受けた」人の割合は、それらの言動を「見た」人の割合（本章第 2 節）と同様の傾向を示した。このことから、場合によってはセクシュアル・ハラスメントに該当する言動が、スポーツの場やスポーツ以外の場において日常的に行われていることをうかがい取ることができる。

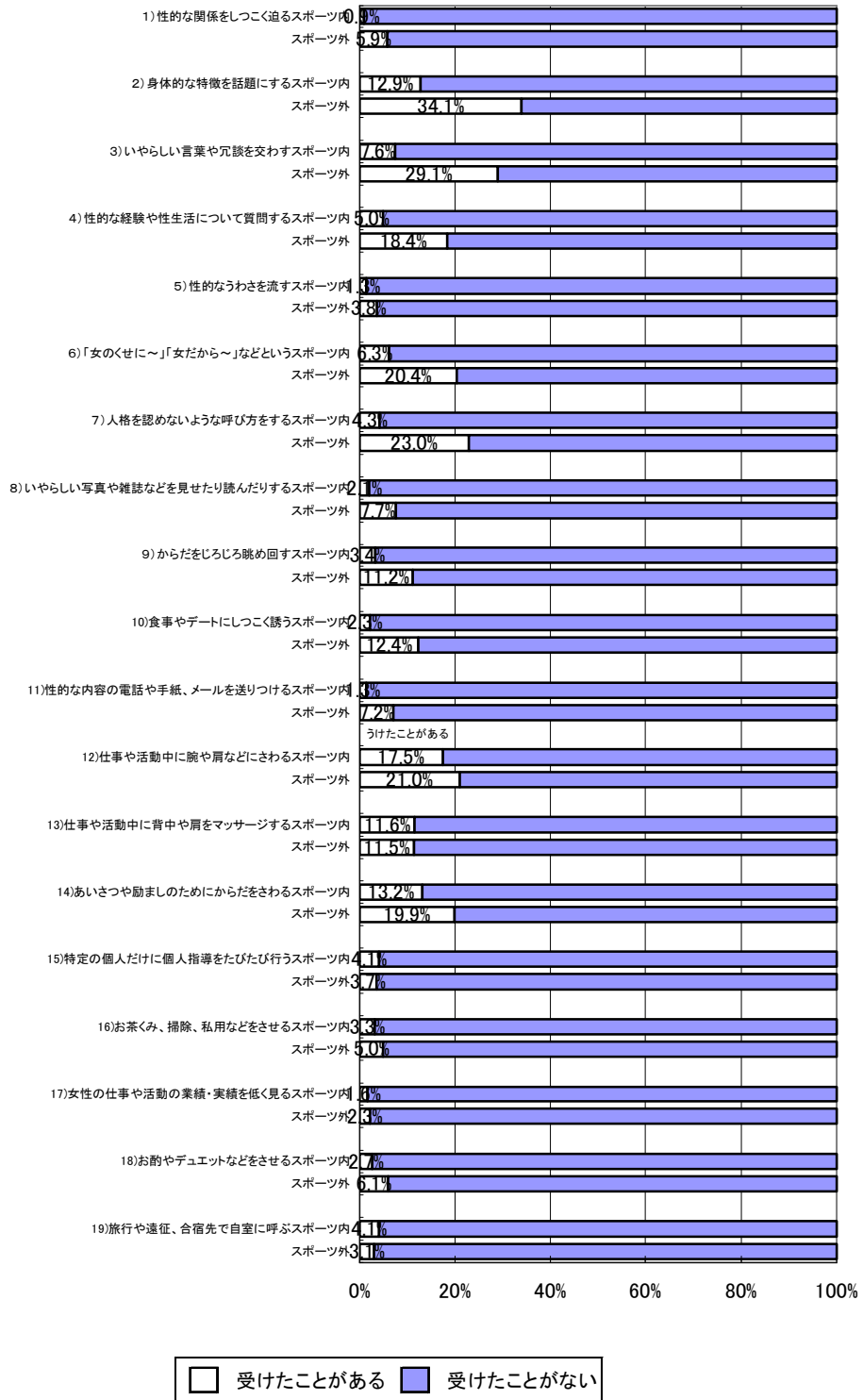


図4-3. 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメント項目の比較
(上段:スポーツ場面 下段:スポーツ以外の場面)

第4節 セクシュアル・ハラスメントの経験と認識の関係

前節では女子学生が受けたことのあるセクシュアル・ハラスメント項目についてまとめた。しかし、第1節でみたように本調査で取り上げた19項目すべてが女子学生によってセクシュアル・ハラスメントとして認識されているわけではない。つまり、同じ言動を受けていながら、受け手側の認識によってそれがセクシュアル・ハラスメントになる場合とそうではない場合が生じるのである。

そこで、前節における「受けたことのあるセクシュアル・ハラスメント項目」とセクシュアル・ハラスメント認識をかけあわせ、ある行為を受けたことがあり、かつその行為をセクシュアル・ハラスメントにあたりと認識した場合をセクシュアル・ハラスメント経験と捉えることにした。図4-4は、セクシュアル・ハラスメントの認識を持ちかつ経験がある者の割合をスポーツ場面とスポーツ場面以外で示したものである。

スポーツ場面以外において経験されることが多かったセクシュアル・ハラスメント項目は次の順である：

- ① 2)身体的な特徴を話題にする (16.5%)
- ② 3)いやらしい言葉や冗談を交わす (14.8%)
- ③ 4)性的な経験や性生活について質問する (12.1%)
- ④ 9)からだをじろじろ眺め回す (10.5%)
- ⑤ 6)「女のくせに」「女だから」などという (9.6%)

受けたことがある言動として経験全体で3位にあった「7)人格を認めないような呼び方をする」は、約7割の人がこれをセクシュアル・ハラスメントとして認識しなかったため、セクシュアル・ハラスメントとして経験したとする人の割合は相対的に少なかった。

いっぽう、スポーツ場面において認識されていてかつ経験者が多かったセクシュアル・ハラスメントは次の順である：

- ① 12)工作中や活動中に腕や肩などにさわる (6.0%)
- ② 2)身体的な特徴を話題にする (5.8%)
- ③ 3)いやらしい言葉や冗談を交わす (4.1%)
- ④ 13)仕事や活動中に背中や肩をマッサージする(2.9%)
- ⑤ 4)性的経験や性生活について質問する (2.8%)

受けたことがある言動として2位にあった「14)あいさつや励ましのためにからだをさわる」は、約77%の人がこれをセクシュアル・ハラスメントとして認識しなかったため、セクシュアル・ハラスメントとして経験したとする人の割合は相対的に少なかった。

次に、スポーツ場面以外とスポーツ場面の差について見てみると、全ての項目で、スポーツ場面以外のほうが認識を持ちかつセクシュアル・ハラスメント経験がある者の割合が多かった。差がもっとも小さかった項目は0.1%差の「19)遠征や合宿先で自室に呼ぶ」であった。

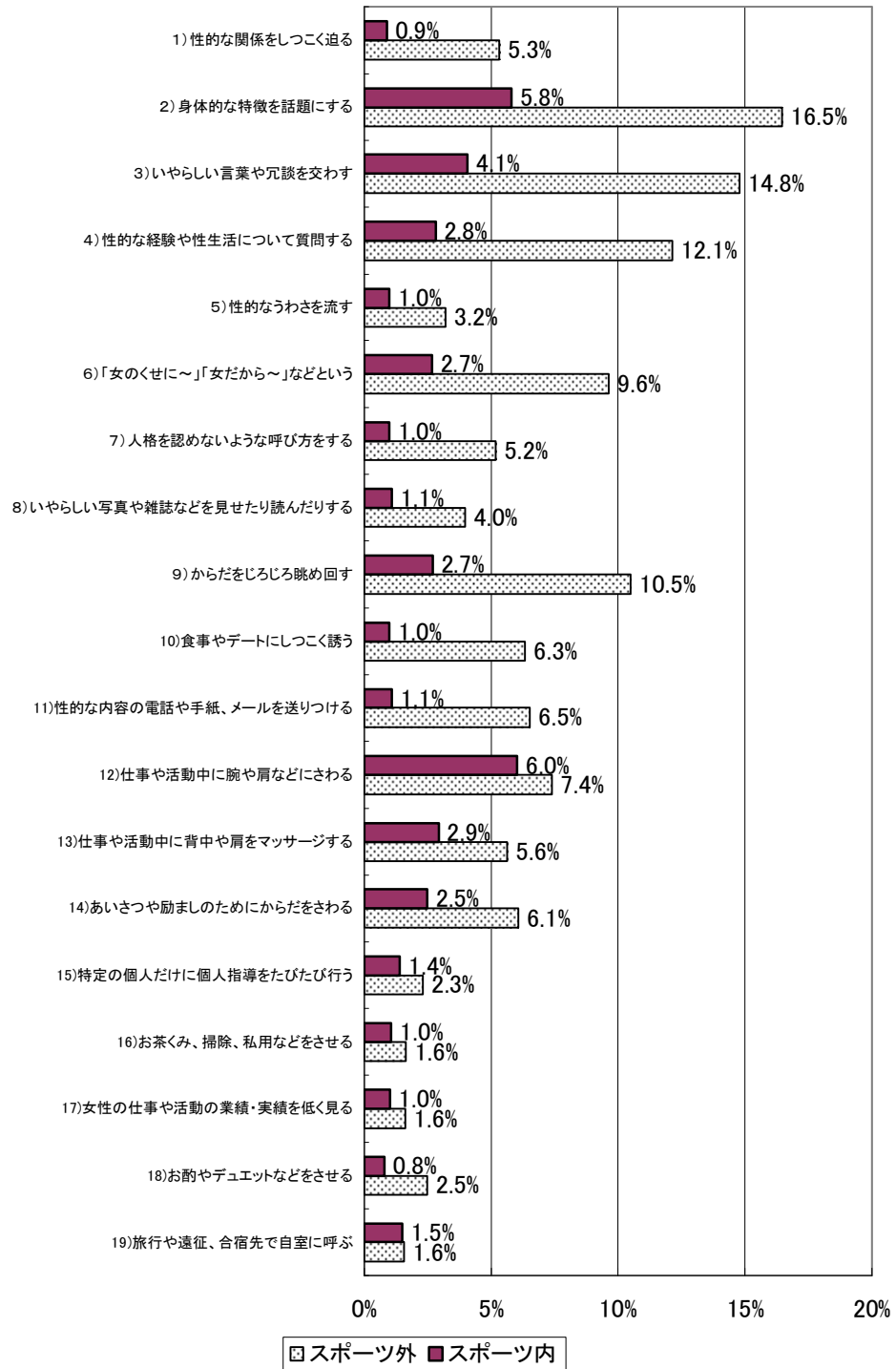


図4-4. セクシュアル・ハラスメント経験の比較

第5節 セクシュアル・ハラスメントの加害者とその対処策

セクシュアル・ハラスメントの加害者およびセクシュアル・ハラスメントを受けた後の対処法についてスポーツ以外の場面とスポーツ場面とを比較しながら見ていく。加害者については「その他」を含め 11 の選択肢、対処法については6の選択肢をそれぞれ用意し、各自の経験における加害者とその時の対処法を多重回答によって選んでもらった。

<加害者>

表 4-1 と表 4-2 にはセクシュアル・ハラスメント経験の加害者をスポーツ以外の場面とスポーツ場面別で示した。セクシュアル・ハラスメントの加害者についての回答は多重回答である。

スポーツ場面外では、発言や会話に関するセクシュアル・ハラスメントは、主として同級生や上級生、同僚によって行われている。また、「身体的特徴を話題」や「いやらしい言葉や冗談」が同・上級生、同僚だけではなく上司によっても行われているケースも少なくない。「からだを眺め見る」「人格を認めないような呼び方をする」「性的な内容の電話やメールを送りつける」は見ず知らずの人によって行われる傾向が強くなる。

表 4-1. スポーツ以外の場面で生じたセクシュアル・ハラスメントの加害者

	同級生	上級生	下級生	教員	学外指導者	組織役員	職員	同僚仲間	上司	未知の人	その他
1) 性的な関係をしつこく迫る	4.3%	21.3%	6.4%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	12.8%	10.6%	25.5%	14.9%
2) 身体的な特徴を話題にする	30.6%	13.8%	4.1%	8.9%	4.1%	0.8%	1.6%	12.6%	15.0%	4.2%	4.3%
3) いやらしい言葉や冗談を交わす	32.8%	15.1%	4.0%	4.0%	2.6%	0.6%	1.4%	17.0%	14.9%	3.4%	4.0%
4) 性的な経験や性生活について質問する	33.1%	15.5%	5.5%	2.5%	1.9%	0.6%	0.9%	18.0%	13.8%	3.8%	4.3%
5) 性的なうわさを流す	41.6%	13.6%	7.2%	2.4%	0.8%	0.0%	2.4%	13.6%	12.0%	1.6%	4.8%
6) 「女のくせに～」 「女だから～」 などという	33.7%	10.4%	3.4%	9.9%	3.5%	1.3%	1.2%	10.2%	10.5%	5.8%	10.1%
7) 人格を認めないような呼び方をする	13.2%	4.6%	6.3%	3.3%	1.4%	1.1%	1.1%	6.8%	7.8%	43.3%	11.3%
8) いやらしい写真や雑誌などを見せたり読んだ	41.4%	17.3%	4.5%	1.5%	0.4%	0.4%	1.1%	13.2%	5.3%	11.3%	3.8%
9) からだをじろじろ眺め回す	13.0%	6.9%	3.9%	6.4%	1.7%	0.6%	2.5%	5.0%	11.4%	44.3%	4.4%
10) 食事やデートにしつこく誘う	20.5%	16.2%	2.8%	1.0%	2.3%	1.3%	0.5%	16.4%	18.4%	10.9%	9.8%
11) 性的な内容の電話や手紙、メールを送りつける	21.4%	9.2%	3.1%	2.6%	1.0%	1.0%	0.0%	7.1%	7.7%	37.2%	9.7%
12) 仕事や活動中に腕や肩などにさわる	12.7%	9.4%	2.0%	16.7%	6.6%	1.3%	2.5%	13.6%	26.8%	3.1%	5.3%
13) 仕事や活動中に背中や肩をマッサージする	15.8%	11.2%	3.7%	17.1%	6.4%	1.9%	2.7%	12.8%	21.4%	1.6%	5.3%
14) あいさつや励ましのためにからだをさわる	20.9%	11.1%	2.6%	16.9%	6.4%	1.1%	2.8%	15.3%	18.8%	1.4%	2.7%
15) 特定の個人だけに個人指導をたびたび行う	4.6%	5.6%	0.9%	36.1%	13.0%	3.7%	6.5%	4.6%	20.4%	0.0%	4.6%
16) お茶くみ、掃除、私用などをさせる	5.4%	10.2%	1.8%	18.1%	7.8%	2.4%	3.0%	8.4%	36.1%	0.6%	6.0%
17) 女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る	16.0%	12.0%	2.7%	12.0%	2.7%	5.3%	2.7%	9.3%	28.0%	4.0%	5.3%
18) お酌やデュエットなどをさせる	9.1%	18.3%	1.5%	4.1%	4.1%	3.0%	2.0%	14.7%	21.3%	6.1%	15.7%
19) 旅行や遠征、合宿先で自室に呼ぶ	12.8%	11.6%	1.2%	39.5%	9.3%	4.7%	11.6%	4.7%	0.0%	0.0%	4.7%

いっぽうスポーツ場面では、発言や会話に関するセクシュアル・ハラスメントはスポーツ以外の場面と同様な傾向を示すが、身体接触を伴うセクシュアル・ハラスメント3項目の加害者は教員が顕著に多くなる(31~39%)。また、「特定の人物だけに個人指導をする(41.4%)」「お茶くみ、掃除、私用をさせる(40.9%)」は非常に高率で教員が加害者となっている。「女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る」も差はわずかではあるが教員が加害者の1位(22.0%)となっている。

特に身体接触に関わるセクシュアル・ハラスメントはスポーツ場面以外では上司によって、スポーツ場面では教員によって行われる傾向が強い点には注意が必要である。同級生や上級生と違い、上司や教員は、女子学生にとっては権力者であり、身体接触に関わるセクシュアル・ハラスメントはそうした権力者によって行われる傾向が強いのである。

表4-2. スポーツ場面で生じたセクシュアルハラスメントの加害者

	同級生	上級生	下級生	教員	学外指 導者	組織役 員	職員	同僚仲 間	上司	未知の 人	その他
1) 性的な関係をしつこく迫る	13.6%	36.4%	0.0%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%
2) 身体的な特徴を話題にする	23.4%	19.8%	6.8%	20.6%	15.2%	0.6%	2.0%	7.6%	1.8%	1.6%	0.8%
3) いやらしい言葉や冗談を交わす	33.0%	26.0%	7.7%	10.3%	7.7%	0.7%	0.3%	10.7%	1.7%	0.3%	1.7%
4) 性的な経験や性生活について質問する	38.4%	27.3%	10.1%	5.6%	5.6%	0.5%	0.5%	9.1%	1.0%	1.0%	1.0%
5) 性的なうわさを流す	28.3%	30.4%	15.2%	4.3%	8.7%	2.2%	2.2%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
6) 「女のくせに～」 「女だから～」 などという	33.5%	14.2%	7.1%	13.4%	13.8%	0.8%	2.5%	8.4%	1.7%	1.7%	2.9%
7) 人格を認めないような呼び方をする	24.3%	17.6%	6.8%	10.1%	5.4%	2.7%	2.0%	8.1%	2.7%	16.2%	4.1%
8) いやらしい写真や雑誌などを見せたり読んだり	38.0%	31.6%	8.9%	6.3%	3.8%	1.3%	1.3%	6.3%	0.0%	0.0%	2.5%
9) からだをじろじろ眺め回す	20.0%	15.8%	5.8%	18.3%	11.7%	0.8%	3.3%	4.2%	0.8%	17.5%	1.7%
10) 食事やデートにしつこく誘う	29.9%	28.4%	3.0%	4.5%	7.5%	0.0%	0.0%	13.4%	3.0%	3.0%	7.5%
11) 性的な内容の電話や手紙、メールを送りつける	20.6%	23.5%	0.0%	8.8%	11.8%	2.9%	2.9%	8.8%	0.0%	14.7%	5.9%
12) 仕事や活動中に腕や肩などにさわる	8.0%	11.6%	2.7%	39.0%	26.9%	0.7%	3.9%	4.3%	1.2%	0.3%	1.4%
13) 仕事や活動中に背中や肩をマッサージする	10.5%	11.9%	4.5%	34.8%	25.8%	0.5%	2.6%	6.2%	1.4%	0.2%	1.4%
14) あいさつや励ましのためにからだをさわる	16.1%	15.1%	4.9%	31.0%	21.0%	0.8%	2.6%	6.5%	1.0%	0.2%	0.8%
15) 特定の個人だけに個人指導をたびたび行う	4.5%	12.8%	1.5%	41.4%	33.1%	1.5%	2.3%	0.8%	0.8%	0.0%	1.5%
16) お茶くみ、掃除、私用などをさせる	6.4%	15.5%	2.7%	40.9%	20.0%	1.8%	1.8%	0.9%	5.5%	0.0%	4.5%
17) 女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る	20.0%	18.0%	4.0%	22.0%	14.0%	6.0%	4.0%	6.0%	2.0%	2.0%	2.0%
18) お酌やデュエットなどをさせる	10.9%	35.9%	3.3%	16.3%	9.8%	3.3%	2.2%	6.5%	5.4%	1.1%	5.4%
19) 旅行や遠征、合宿先で自室に呼ぶ	5.6%	13.7%	1.6%	46.0%	25.0%	1.6%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%

<対処法>

最後に、セクシュアル・ハラスメント項目について、そうした状況が生じた場合の対処法をスポーツ以外の場面（表4-3）とスポーツ場面別（表4-4）で示した。全体的に「受け流した」に次いで「何もできなかった」とする者が多かった。しかし、「性的な関係を迫る」の項目では「嫌だと伝えた」が25%と2番目に多かった。これらの結果からセクシュアル・ハラスメントを受けた場合、女子学生は特に意思表示をするわけでもなく、その場をうまくごまかすか、あるいはなされるがままそうした行為を受け入れざるを得ない様子が見られる。

スポーツ場面以外で発言や会話に関するセクシュアル・ハラスメントは「受け流され」、身体接触を伴うものは「何もできなかった」が多い。その中で「女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る」の項目については「何もできなかった」が31.4%でもっとも多かった。回答の「何もできなかった」と「何もできなかった」には特に行動に出ない点では同じであるが、「何もできなかった」には「何とかしたいのにできなかった」という意志が介在している点が重要である。

スポーツ場面でも同様な傾向が見られたが、「女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る」の項目については「嫌だとはっきり伝えた」が34.3%でもっとも多く、次いで「何もできなかった」が25.7%とスポーツ場面ではこのような発言にはっきりとその価値を認めるよう要求する態度が強いことが理解された。

表4-3. スポーツ以外の場面で生じたセクシュアル・ハラスメントへの対処策

	嫌だと伝えた	助けを求めた	受け流した	何もできなかった	何もしなかった	その他
1) 性的な関係をしつこく迫る	28.0%	5.1%	53.5%	5.7%	3.8%	3.8%
2) 身体的な特徴を話題にする	3.8%	1.7%	64.7%	6.4%	21.0%	2.4%
3) いやらしい言葉や冗談を交わす	4.8%	1.8%	63.3%	5.3%	21.2%	3.6%
4) 性的な経験や性生活について質問する	6.0%	1.9%	65.6%	5.3%	17.7%	3.5%
5) 性的なうわさを流す	8.7%	4.3%	50.0%	26.1%	4.3%	6.5%
6) 「女のくせに～」 「女だから～」 などという	16.5%	0.6%	49.3%	10.1%	18.8%	4.7%
7) 人格を認めないような呼び方をする	3.2%	0.3%	52.2%	5.2%	36.2%	2.9%
8) いやらしい写真や雑誌などを見せたり読んだり	10.1%	3.5%	49.5%	10.6%	20.2%	6.1%
9) からだをじろじろ眺め回す	5.6%	3.8%	38.5%	38.1%	3.1%	10.8%
10) 食事やデートにしつこく誘う	22.0%	8.2%	51.5%	7.0%	8.2%	3.0%
11) 性的な内容の電話や手紙、メールを送りつける	17.8%	4.9%	43.8%	17.3%	5.9%	10.3%
12) 仕事や活動中に腕や肩などにさわる	6.9%	4.0%	42.8%	19.6%	24.7%	2.0%
13) 仕事や活動中に背中や肩をマッサージする	4.8%	3.4%	35.0%	13.3%	40.5%	3.1%
14) あいさつや励ましのためにからだをさわる	2.1%	1.7%	32.6%	10.0%	52.1%	1.4%
15) 特定の個人だけに個人指導をたびたび行う	6.8%	5.7%	26.1%	27.3%	29.5%	4.5%
16) お茶くみ、掃除、私用などをさせる	4.0%	3.2%	30.4%	16.8%	41.6%	4.0%
17) 女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る	27.5%	0.0%	29.4%	31.4%	5.9%	5.9%
18) お酌やデュエットなどをさせる	3.8%	4.5%	37.8%	12.8%	35.9%	5.1%
19) 旅行や遠征、合宿先で自室に呼ぶ	1.3%	6.5%	26.0%	16.9%	41.6%	7.8%

表4-4. スポーツ場面で生じたセクシュアル・ハラスメントへの対処策

	嫌だと伝えた	助けを求めた	受け流した	何もできなかった	何もしなかった	その他
1) 性的な関係をしつこく迫る	25.0%	0.0%	65.0%	5.0%	0.0%	5.0%
2) 身体的な特徴を話題にする	3.3%	0.3%	57.5%	9.3%	26.5%	3.0%
3) いやらしい言葉や冗談を交わす	2.7%	2.1%	59.6%	9.6%	23.9%	2.1%
4) 性的な経験や性生活について質問する	3.5%	0.5%	33.7%	4.0%	15.6%	2.5%
5) 性的なうわさを流す	11.5%	3.8%	42.3%	34.6%	3.8%	3.8%
6) 「女のくせに～」 「女だから～」 などという	13.0%	0.0%	49.4%	9.1%	23.4%	5.2%
7) 人格を認めないような呼び方をする	3.7%	0.0%	47.7%	3.7%	43.1%	1.8%
8) いやらしい写真や雑誌などを見せたり読んだり	10.0%	2.0%	44.0%	10.0%	28.0%	6.0%
9) からだをじろじろ眺め回す	5.8%	5.8%	40.7%	33.7%	9.3%	4.7%
10) 食事やデートにしつこく誘う	24.1%	3.7%	42.6%	5.6%	16.7%	7.4%
11) 性的な内容の電話や手紙、メールを送りつける	26.7%	0.0%	46.7%	10.0%	13.3%	3.3%
12) 仕事や活動中に腕や肩などにさわる	1.1%	2.4%	23.9%	10.6%	58.2%	3.8%
13) 仕事や活動中に背中や肩をマッサージする	2.0%	2.4%	19.2%	7.1%	65.3%	4.0%
14) あいさつや励ましのためにからだをさわる	1.2%	1.2%	21.6%	3.8%	69.9%	2.3%
15) 特定の個人だけに個人指導をたびたび行う	2.0%	2.0%	18.6%	10.8%	60.8%	5.9%
16) お茶くみ、掃除、私用などをさせる	3.6%	2.4%	21.7%	16.9%	51.8%	3.6%
17) 女性の仕事や活動の業績・実績を低く見る	34.3%	5.7%	20.0%	25.7%	8.6%	5.7%
18) お酌やデュエットなどをさせる	1.4%	4.3%	32.9%	14.3%	42.9%	4.3%
19) 旅行や遠征、合宿先で自室に呼ぶ	2.0%	4.0%	12.0%	14.0%	59.0%	9.0%